



入学式も終わり、桜もそろそろ散り始めの今日この頃。本郷通りの大型のマンション開発に負けじと建っている小さな建物が取り壊すのではなく、リノベーションをしたと聞き内覧させてもらった。歩道からすこしセットバックしてある木造戸建の引き戸の玄関ドアを開けると、今ではお目にかかれないような玄関土間がある。昔はこのような場所がどこの家にもあって、溜まり場となっていた。

1階の奥は床がカーペットの居室があり、さらにその奥には洗面所・トイレ・浴室の3点セットがある。居室は壁や扉のようなハードな素材で仕切るのでなく、カーテンのような柔らかい素材で仕切れるように天井にレールが取り付けられている。

洗面所は当時のものを使用している。もともと大きめの洗面所なので、現在でも利用価値は高い。トイレとお風呂は新品と交換して機能性を高めている。

2階にあがる急斜面の階段も年期を感じる。2階は大きなリビングルームとダイニングルームとなっている。天井を剥がして、屋根の小屋組を露出することによって

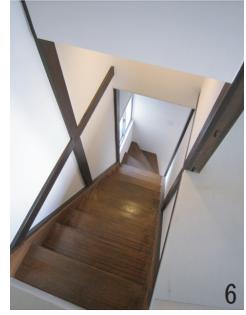
開放感を演出し、さらに既存の木造の柱梁は何も手を加えることなく剥き出しである。天井の深いワインレッドの色と壁の明るいホワイトのコントラストは、過去と現在のリミックスで、魅力的な空間を作り出している。

この木造戸建のリノベーションを設計施工したのは、株式会社ルーヴィスだ。木造戸建だけではなく木造賃貸アパート、鉄筋コンクリート造の中古マンションのリノベーションを多く手がけてきた彼らにとっても新しい試金石となったようである。

それは、古いものをすべて新しいものへと置換する大規模なリノベーションではなく、残すところと壊すところをしっかりと分けることにより、既存の空間の良さを活かしつつ、現代の住まいとして仕上げていく。

この建物の内覧した人は、たぶん抵抗を感じたことだろう。それが本当の意味での彼らが成し遂げたかったことに違いない。入居者にしか分からない心地よさがここには潜んでいる。それこそが生活の豊かさであり、私たちが求めているものである。

開放感を演出し、さらに既存の木造の柱梁は何も手を加えることなく剥き出しである。天井の深いワインレッドの色と壁の明るいホワイトのコントラストは、過去と現在のリミックスで、魅力的な空間を作り出している。



- 1 2階のリビングダイニング
- 2 外観
- 3 1階の玄関土間
- 4 1階の居室
- 5 1階の洗面所とトイレ
- 6 階段

所在地 : 東京都文京区
主用途 : 住居
構造 : 木造
設計施工 : 株式会社ルーヴィス

The house of BUNKYO

Renovation x Report 001